

## 参院でも自公を少数に追い込み消費税減税を！

参院選挙の真ただ中です。世論調査(FNN)で8割以上が「必ず投票する」または「投票するつもり」と答え、重視する政策は、半数以上が「経済対策」を挙げました。「野党議席が増えた方がよい」36%、「与党議席が増えた方がよい」20%で野党への期待が高まっています。政策では「給付金が望ましい」17%に対して「消費税の減税・廃止が望ましい」が52%を占めました。消費税減税・廃止を実現するため、参院選で与党を少数に追い込むとともに、会報「ノー消費税」読者5千人を早期に達成させましょう！

### 早速、読者2人を拡大

#### 富山の会

全国世話人の水谷敏彦さんは地域の集まりに呼ばれ、消費税について話をしてほしいと依頼されました。参加者に会報「ノー消費税」を見せて「みなさん、これは読んだ方がいいですよ」と訴え、2人がその場で読者になってくれました。総会まで読者を150人にしようと頑張っています。

6月24日には消費税をなくす富山県の会と消費税廃止富山県各界連絡会は、富山市総曲輪商店街で宣伝。水谷代表世話人は「多くの輸出大企業は導入以来、36年間、税務署に1円も納めていない。23年度にトヨタ自動車への還付金は6千億円を超えている。大企業・富裕層への優遇をただし、応分の負担を求める税制に変えて消費税の一律5%に減税を行うべき。参院でも過半数割れに追い込めば、消費税減税を望む市民の声が届く国会になる。参院選はチャンス」と力を込めました。



### 全自治体に請願・陳情書提出

#### 福島の会

福島の会は消費税廃止各界連とともに県議会を含め6月議会に全県60自治体に、消費税減税とインボイス廃止の二つの請願・陳情書を提出しました。採択したのは喜多方市、会津美里町、西郷村。不採択は14自治体、趣旨採択は2自治体、継続審査は1自治体、インボイス廃止のみ継続審査は2自治体、議員に陳情書配布は3自治体。残りの自治体は審議中です(6月



24日現在)。県議会には共産党議員の紹介を得て、消費税5%減税とインボイス制度廃止の請願書として提出しました(写真)。

24日現在)。県議会には共産党議員の紹介を得て、消費税5%減税とインボイス制度廃止の請願書として提出しました(写真)。

### 11市町村が意見書採択

#### 高知の会

高知の会は県内34の全自治体に消費税減税・インボイス廃止を求める請願・陳情書を提出。南国市、香美市、土佐清水市、奈半利町、馬路村、大豊町、本山町、土佐町、仁淀川町、佐川町、四万十町の3市7町1村が採択しました(6月30日現在)。南国市では自民党も共同提出者に。香美市では8対8でしたが議長が賛成に回って請願が採択されました。一方、安芸市では議長が反対して不採択になりました。

今回、議長名で審議経過や結果を知らせる丁寧な手紙が請願・陳情者に送られてきました。

### 参院選アピール発表

#### 神奈川の会

神奈川の会は参院選立候補者16人の内、連絡先がわかった自民、立民、公明、維新、共産、国民、れいわ、社民、参政の9人の予定候補にアンケートを送り、あさか由香さん(共産)、金子豊貴男さん(社民)、三好ようさん(れいわ)、牧山ひろえさん(立民)から回答がありました。4人とも消費税は減税、インボイス廃止でした。アピールでは消費税一律5%への引き下げを求め、大企業や富裕層の優遇税制をただし、恒久財源を求めています。

### 宣伝誌2部ではたたかえない、購読申込書100部送って

#### 埼玉の会

会報読者5千人の呼びかけを読んだ全国世話人さんからはがきが届きました。「暑中お見舞い申し上げます。「会報」を増やす呼びかけを拝受致しました。その主旨に賛同し、要望を申し上げます。読者宣伝誌2部をいただきましたが、これではたたかになりません。私はチラシが作れませんが、県の方に購読申込書を百枚単位でお送りください」。早速、購読申込書を県の会に送りました。

# 「さあ参議院選挙どないするねん消費税」を開催 大阪の会



大阪の会  
は6月28  
日、「さあ参  
議院選挙ど  
ないするね  
ん消費税」を  
開催し、20

人が参加しました。

常任世話人で税理士の清家裕さんが講演。消費税の集め方、使い方についてグラフ等を示して丁寧に説明。消費税は社会保障の特定財源ではなく、一般財源であること、法人税や所得税の歳入減収分の穴埋めになっていることを改めて認識しました。フリー討議では大阪商工団体連合会が「インボイス制度の実態アンケート(第2弾)」の結果を報告。インボイス登録をした事業者は、消費税負担額が3万1千円から13万6千円となんと4倍に。消費税を「転嫁できていない」は70%に上り、消費税負担増に対して「身銭を切る」が38%、「廃業」が8%でした。

参加者からは「税率が5%になっても事業者の納税額は減るが、それが値段に反映するとはいいがたい。税率が下がれば、競争の中で商品の値段も下がるだろうが、あくまで事業者の方針によることを新たに認識した」との声も。いずれにせよ、政治が減税を決めることが、値段が下がる確かな道。興味深く、元気になる学習会でした。

## 15人が宣伝に参加 青森の会



消費税をなくす青森市の会は6月24日、消費税廃止東青各界連の街頭宣伝に参加しました。青森保健生協やなくす会、中高年福祉事業団、青森民商から、今年最高のな

んと15人が参加。10人の署名が寄せられ、にぎやかに行動することができました。「なんでも値上がりして大変。暑い中ご苦労さま。頑張って！」と激励の声が寄せられました。6月17日には青森市内で宣伝カーを走らせ、「消費税減税・インボイス廃止」の流し宣伝にも取り組み、畑で作業中の女性が手を振って応援してくれました。

## 「業者は大変」と署名 三重の会

三重・桑名地区各界連絡会は6月24日、街頭宣伝を行いました。民商、戦争法廃止の市民の会、なくす会のメンバー5人が参加。「消費税廃止に向けて緊急に5%に減税を」と訴え、2人の女性が「業者の人たち大変って言っていますよ」と署名応じました。津市でも24日に宣伝を行い、5人が参加。三重の会の大川事務局長がマ



イクを握り、「消費税の減税の財源については、日本共産党だけが、大企業・富裕層優遇などにメスを入れて消費税減税を実現すると提案をしている。どの政党を選択するかが大切」と訴え、13人の署名が集まり、3人がシール投票をしました。

## 「消費税ゼロや、頑張れ」と激励 和歌山の会

猛暑の中、和歌山県連・民商となくす会は6月24日、JR和歌山駅前前で宣伝し、「参議院選挙で消費税減税が実現できる国会をつくらう！」と訴えました。高齢の男性がニコッと笑って「消費税ゼロや、頑張れ」と激励。減税を巡って話し込む人や「自民党はアカン」と怒る人がいるなど、参院選で消費税が大争点になる中、減税を求める声が広がっていることを感じました。



## 無策な政府に怒りが 岩手の会



岩手の会  
は7月1日、  
消費税廃止  
岩手県各界  
連絡会ととも  
にいわて生

協バelf山岸の店舗前で「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止」を求める署名を訴えました。朝から30度に届くような暑さの中でしたが、生協の「暮らし支援デー」ということもあって多くの買い物客でにぎわい、署名に応じていました。年金暮らしの高齢の男性は「こんなにモノが値上がりしているのに政府は何にもしないのか」と怒りをぶちまけていました。昼前の30分の行動でしたが、11人が参加し、21人から署名が寄せられました。

**\*購読申込書は無料です。**

